

ドラコなび 車いすアスリート見聞録
 行って来たら、見て奇譚?



相変わらず、テレビはBSの旅モノばかり見えています。新聞を開いても旅行会社の広告を見ては「外国に行きたいなあ」とため息。映画はもろろ洋画。ストーリーと同じくらい外国の風景が重要です。大自然もいけれど、かわいい街並やおしゃれなインテリアにドキドキします。(たまにSFを観ても「火星に行きたいなあ」とはなりません。最近読んだ本は「北欧ミステリー」(いつからそんなジャンルが出来たんだ...)とイギリス人から見たアメリカ人のフシギを書いたエッセイ。(私からすればどちらもフシギ。ベッドの枕元には、いつでも開けるように英文法分厚い参考書が山積みになっています。「山積み」という時点で、開いてないことはバレバレ。つまり私の欲望の半分は「外国に行きたいなあ」。ちなみに残りの半分は買い物欲。)



▲昆布茶?という名のアヤシイ飲み物(ドイツ)



我が家の猫にもお土産を(チェコ)

旅行に行くお金はないのに、試合となるとどうにかこうにかお金を捻出して、(もつ本当に)銀行口座が空になるくらい毎回ギリギリ捻出して「遠征します」。遠征はあくまでも試合なので観光ナシ、買い物は近所のスーパー。それでも試合会場までの移動のバスから街並を眺めるように眺めるのは最初のうちだけで、後半は疲れて寝てしまいますが、バスの揺れでフシるのも構わず写真を撮りまくりまします。「コンビニエスーパーでお土産になりそうなものを物色し、日本に帰ったらガラクタになってしまつような雑貨や、食べるのに勇気がいるような極彩色のお菓子を買つてしまいます」。



本日は、弓を持たない「旅行」に行きたいのですが、まだまだ現役続行。当然、重い弓を抱えて行く「遠征」はかりになりそうです。2004年にアテネ大会に出場して以来、「もう一度あの舞台へ」と目指しながら、北京、ロンドンとはあと一歩及ばず出られなかったパラリンピック。リオデジャネイロ大会の出場権をやつとの思いで掴みとり、この夏12年ぶりに出場を果たしました。残念ながら「勝つ」ことができなせんでしたが、「あの舞台」に再び立てた思いは特別でした。12年に渡る長旅が終わり、そしてまた「4年後」に向かう旅がスタートしました。2020東京大会までの道のりがどんなものになるのか、楽しみでもあり、ちよつと怖い気もします。今度、は外国ではないけれど、きつとバスから写真を撮りまくつちやうんだらうなあ...。



▲お城をバックに試合、なんてことも(イタリア)

ひらさわなこ
 1972年生まれ 埼玉県在住
 先天性の手足の障害で車いすを使用。24歳でアーチェリーを始める。2004年アテネパラリンピック銅メタリスト。
 (株)アクト・テクノワルサポート所属

おきな清宮&養吉
ひるやすみの詠
 うた

おきな清宮
自転車ですルメかじりて行く生徒バス停の前するりん過ぎぬ

この一首は映像を思い浮かべると『キュッ』と真髓が掴める作品の好例だ、はア。
 こう、カッチカチのスルメと若い学生さんが自転車を操る柔らかな身のこなしの対称が小癪で爽やかで...最近、トシのせいかわいものを喰うのも自転車もご無沙汰しがちなオラには眩しいなあ...まあ、イカは濁れても『旨み』は増すもの。にんげんもこんな感じで『干されて』ナンボといきたいもんだべや。
 と、言うわけで本日のひるめし、ふつくふくのいか飯に茸と冬瓜の御味御汁にて、頂きます。
 養吉先生



二〇一十六年秋号

山本工務店45年目の感謝状



いつもありがとうございます! 山本光男

役にたっておもしろい地域と住まいの情報源

2016年11月23日発行
<http://www.reformyamamoto.com/>

ハイ! High Réforme

(有)山本工務店 NO.27 〒175-0082 東京都板橋区高島平7-1-1 TEL03-3979-3401 E-mail yamar@zmail.plala.or.jp

編集後記
 レフォルム市には当工房も参加させていたいただきました。初めてのことでばかりで緊張のスタートでしたが、お客様、山本工務店の皆さん、出展各社の方々、皆さま笑顔笑顔笑顔。私たちがもどんどん楽しんでました。会場を包む活気と暖かい気さくな雰囲気。地域密着45年の力を肌で感じた一日でした。45周年おめでとうございます!

《編集・砂絵工房》
 k18k19@nifty.com

山本工務店は1972年創業。高島平に根を下ろして以来、地域密着で街の頼れる工務店を目指して参りました。当紙『レフォルムHigh』の『レフォルム』の名称は、長年使用している深い思い入れある言葉です。『High』は英語の『高い』という意味と、ハイレベルのサービスの提供とより高みを目指そうの精神、そしてお客様の呼びかけに『ハイ』と答えて対応する当社の精神を表したくつけたものです。
 《山本工務店》

レフォルム市 — 山本工務店45周年感謝祭 —



2016年9月18日。高島平区民館ホールにおいて、山本工務店45周年感謝祭『レフォルム市』を開催させていただきました。

わたくしどもが地域密着を志し工務店を構えたのは、日本が東京オリンピックと大阪万博を終え、活気に満ちた時代でした。以来、地域の皆様に支えていただきながら45周年を迎えることが出来ました。ありがとうございます！そんな感謝の気持ちをお伝えたく開催した『レフォルム市』の様子、ご報告いたします。

奏でて下さいました。優しいメロディーがお客様の気分をまあるく包み込みます。軽妙なトークも小粋で大人っぽいひとときでした。

催しの最後には、夏の間募集していた「塗り絵コンテスト」の発表もあり、9人の受賞者の皆さんは嬉しそうに記念品を受け取って下さいました。塗り絵を描いてくれたのはこのレフォルム・ハイを制作している『砂絵工房』です。

出展ブースではメーカー・仕入れ先のほか、地元のお店が人気

当日は雨模様の中、開催30分前からお客様が続々といらして下さり、ご来場は300組を超え、会場は笑顔でにぎわいました。

“お得を探しにぜひご来場ください！”の気持ちでオープンしました『レフォルム市』の目玉は「網戸張替無料サービス」。建設労働者ですの、こういったイベントはちよつと緊張してしましますが、日頃ともに働く職人の皆さんにより手際よく進み、お客様にも大変喜んでいただけました。

「住まいの110番・なんでも相談所」コーナーではリフォームのご相談・ご予約をいただき、現在工事を進めております。

感謝を込めてご用意しましたのは、「わたあめ・焼きそば・ソフトクリーム」のラインナップ。お客様からは「わたあめ久しぶり〜！」の歓声もあがりました。出展ブースをめぐる「スタンプラリー」のゴールでは、お菓子のつかみ取り

りがあり、袋いっぱいのお菓手に喜んでいただけました。



スタンプラリーのゴールはお菓子のつかみ取り

そんな『レフォルム市』を支えて下さったのは、普段お付き合いいただいている地域のお店やメーカー・仕入れ先の方々です。出展ブースなどのお手伝いの皆さんは朝早くから夕方までご協力下さいました。そして、舞台上から会場を沸かせて下さったのは板橋区のアーティストの皆さんたちです。



午前11時の舞台上、満を持してドローン！と登場したのは、『板橋勇音太鼓』の皆さんです。腹の底に響くダイナミックな太鼓の音と華麗なパオーマンズは見事。会場一体となって音の奔流に身を任せ、聞き終わった後

そして何より、心くすぐられたのは、そんな会場の様子やお客様の表情を見ている我々だったかもしれません。皆様から頂いた時間は、45年かかって積み重ねたこと。本当に感謝の気持ちで一杯です。行き届かない事やご不満な点もあつたかと反省もしております。

午後11時の舞台上、満を持してドローン！と登場したのは、『板橋勇音太鼓』の皆さんです。腹の底に響くダイナミックな太鼓の音と華麗なパオーマンズは見事。会場一体となって音の奔流に身を任せ、聞き終わった後注ぐような音楽をハワイアンバンド『ホアロハ・アイラウンダーズ』が



ハワイアンに乗って踊りも楽しめました

創業以来、様々なことがありました。景気も時代の風も優しいばかりではありません。

でも、この「レフォルム市」の様子を思い出せば、我々が何によって、誰によって支えられているのを見誤る事なく、これからも地域密着で歩んで行けると思うのです。この感謝状、受け取って下さい。心より御礼申し上げます。



終了のご挨拶でも感謝の気持ちを伝えました

山本工務店一同より

★感謝状

地域の方、お客様、たくさん来て下さってありがとうございます。これからもよろしくお願ひ申し上げます。



- ①ダイナミックな板橋勇音太鼓
- ②山本工務店の住まいの110番なんでも相談コーナー
- ③ホアロハ・アイランダーズのこち良い常夏メロディー
- ④ウイングゲートのスタッフと楽しく体を動かすチピッコたち
- ⑤板橋市場の野菜セツが大人気お昼で完売してしまいました
- ⑥網戸張替無料サービスは協力会社の方々が大活躍
- ⑦塗り絵コンテストの表彰式…景品は何だったかな？